



都連青年部通信

部落解放同盟東京都連合会 青年部
2025 年 春 号

雇用相談のお知らせ

◆内容

国と都の専任の担当者が仕事探しをお手伝いします。

- ①就職や仕事探しのサポート
- ②職業訓練や非正規から正規へのキャリアアップの相談
- ③失業・求職時の住居や生活費などの生活相談・支援

※緊急の場合はいつでも対応します。労働に係る生活相談等、困りごとがありましたら気軽にご相談ください！

◆費用無料

◆問い合わせは各支部へ！

青年部通信バックナンバー

過去の過去の青年部通信は都連のHPで見ることができます！QRコードを読み取って都連HPにアクセスしてください！！

青年部だけでなく
他の活動記事も見
ることが出来ます！



問い合わせ

〒111-0024

台東区今戸 2-8-5 東京解放会館内
TEL 03-3874-7311
青年部

～ この間の取り組み・参加 ～

- ◆ 4月 4日(金) 石川早智子さんが狭山事件第4次再審請求申立
- ◆ 15日(火) 狭山青年共闘会議代表者会議／中央本部
- ◆ 16日(水) 石川一雄さん追悼集会／日本教育会館
・・・ p 3
- ◆ 18日(金) 都連青年部定例会議／オンライン
- ◆ 5月10日(土)～11日(日) 全国高校生・青年活動者会議
／福岡県中小企業振興センター・オンライン
- ◆ 14日(水) 東京清掃労働組合青年部・狭山青年共闘会議合
同学習会／SKプラザ ・・・ p 4
- ◆ 17日(土)～18日(日) 第68回全国女性集会
／鳥取市・とりぎん文化会館 ほか
- ◆ 22日(木) 狭山事件の再審を求める情宣行動関（関ブロ青
年交流会・狭山青年共闘会議共催）
／上野駅周辺 ・・・ p 4
- ◆ 23日(金) 狭山事件の再審を求める市民集会
／日比谷野外音楽堂 ・・・ p 3
- ◆ 6月 1日(日) 都連第66回定期大会／台東区民会館
- ◆ 13日(金) 都連青年部定例会議&大会／オンライン
・・・ p 1

— 今後の予定・催事 —

- 8月 8日(金) 都連青年部定例会議／オンライン
- ※ 8月23日(土)～24日(日) 第57回全国高校生集会・第69
回全国青年集会／福岡県中小企業振興センター

～都連青年部2025年度大会開催～

都連青年部は、2025年度青年部大会を6月13日、オンラインで開催しました。

活動方針案では、狭山再審闘争において、石川一雄さんの「見えない手錠」を外すため、第4次再審請求を申し立てた石川早智子さんを全力で支援するとともに、狭山再審闘争が都連青年部活動の重要な柱であり、労働組合青年との連帯における大きな軸になっていることを確認し、活動を展開していくことが訴えられました。

最後に団結「差別と闘う青年部」を目指していこうと、ガンバローをおこないました。



(ス々の復活！)生活の知恵シリーズ④ ～東京都の子育て支援～

東京都では、子育て世帯の経済的な負担を軽減するため、二つの主要な支援策を実施しています。どちらも所得制限がなく、都内在住であれば広く活用できる制度です。

1. 「018サポート」

：18歳までの子どもに月額5,000円の経済的支援

東京都は、都内在住の0歳から18歳までのお子さん一人あたりに対し、月額5,000円を支給する「018サポート」を提供しています。

この制度の特筆すべき点は、所得による制限がないことです。すべての子育て家庭が、お子様の成長に必要な経費の一部として活用できます。教育費、習い事、日々の生活費など、用途は限定されていません。

支給対象となるのは、東京都内に住所を有する18歳に達する日以後の最初の3月31日までのお子さんです。

申請期間は年度ごとに定められていますので、東京都の公式ホームページにて最新の申請時期をご確認ください。確実な情報収集と早めの申請手続きをお勧めします。



2. 「東京都出産・子育て応援事業「赤ちゃんファースト」」

：出産育児用品等への経済的支援

2023年4月1日以降に出生したお子さんがいるご家庭には、「赤ちゃんファースト」として、妊娠時に妊婦の方へ5万円相当のギフト、出産後にお子さん一人あたり10万円相当のギフトが支給されます。

このギフトは、ベビー用品や育児サービスなど、子育てに必要な物品やサービスと交換することが可能です。出産という新たな始まりを経済的にサポートし、育児にかかる初期費用の一部を支援する目的があります。

こちらも所得や居住地の制限はなく、対象となるすべてのご家庭が利用できます。

対象となるのは、2023年4月1日以降に出生し、出生後初めて東京都に住民登録をしたお子さんとその養育者です。

ギフトの内容や申請方法の詳細については、東京都の公式ホームページで必ずご確認ください。



まとめ

経済的な負担軽減を目指した東京都の支援



「018サポート」と「赤ちゃんファースト」は、東京都が子育て家庭の経済的な安定を支援するために実施している重要な施策です。所得に関わらず利用できるこれらの制度を理解し、子育てにおける経済的な負担の軽減にお役立てください。

最新の情報や申請に関する詳細は、東京都の公式ホームページをご確認ください。

今回の記事では、今回ご紹介した制度に加え、市区町村によって内容が異なるものの、都民であれば幅広く活用できる可能性のある制度、例えばベビーシッター補助や児童育成手当などについてご紹介する予定です。

石川一雄さん追悼集会 ～無念の死を悼む～

石川一雄さん追悼集会が、4月16日、日本教育会館でひらかれ、全国から約1,000人が参加し、一雄さんの死を悼みました。主催は、部落解放同盟中央本部と、狭山事件の再審を求める市民集会実行委員会。

主催者代表の中央本部の西島藤彦・委員長、部落解放中央共闘会議の安藤京一・議長をはじめ、共闘団体、国会議員、弁護士、支援者、冤罪被害当事者、袴田巖さんの姉・秀子さんなど多くの方が参列・参加しました。

秀子さんは、「今度こそ石川さんの再審開始が決定すると思っていたのに、残念でなりません。巖もがっかりしています。60年も闘ってきたのに、悔しいですね」と語りかけました。

石川早智子さんは、一雄さんが生前につくった短歌、「私が小鳥（ウグイス）縦横無尽にとんで行く冤罪訴え支援のお願い」「晴れる日は今日か明日かと60年何時も心中露時雨」を読み上げ、「夫は86年の生涯のほとんどを冤罪を晴らすため走り続けた。あとは私や弁護団が頑張るから、ウグイスになって自由に空を飛びながら見守ってほしい」とよびかけました。

最後に、参加者全員で献花をおこないました。



5. 23狭山事件の再審を求める市民集会 ～石川一雄さんの無念を胸に～

狭山事件の再審を求める市民集会が「石川一雄さん追悼！狭山第4次再審闘争勝利！東京高

裁は再審開始を！」をサブタイトルに5月23日、日比谷野外音楽堂で開催されました。今年3月に石川一雄さんが無念の内に亡くなり石川早智子さんが狭山事件第4次再審請求を申し立ててから初めての開催となる本集会に、全国から1,200人が参加しました。

この集会は、石川一雄さんが不当に逮捕された「5月23日」を節目に毎年開催されています。不当逮捕されてから、今年で62年になります。

ステージには一雄さんの遺影が置かれ、登壇者らは再審の実現と再審法の改正の必要性を呼びかけました。

早智子さんは、「一雄に今もかかっている見えない手錠を外したい。無念と苦しみを繰り返さないでほしい」と訴えました。

集会の最後はデモ行進をおこない、狭山事件の事実調べ・再審開始を訴えました。



石川一雄さん追悼！第4次再審闘争勝利！東京高裁
主催 狭山事件の再審を求める市民集会実行委員会



2026年3月に定年退官が決まっています。なんとしても退官前に、事実調べ・再審開始決定を勝ちとらなければなりません。第4次における再審開始を求める署名が新たに始まっています。みなさんのご協力をお願いいたします！

(部落解放同盟中央本部HP 狭山事件の再審を求める署名⇒)



東京清掃労働組合青年部・狭山青年共闘会議合同学習会 ～ 狭山再審闘争を通じた差別を許さない青年連帯 ～

東京清掃労働組合青年部・狭山青年共闘会議合同学習会が5月14日、SKプラザで開催されました。

最初に、『なぜ労働組合が「差別・人権」問題に取り組むのか?』と題して、東京清掃労組青年より学習講演を受けました。差別による労働条件や待遇の不利益があってはならないし、資本側からすれば労働者に団結させないため、労働者間で対立や過度な競争などによって分裂している方が都合がよく、それに差別が利用されることなどが述べられました。そうした労働者が安心して働けない社会を変えるためには、自分たちの職場はもちろん、様々な職種の労働者・組合や団体などと連帯し、差別がない労働者が安心して働ける社会、暮らせる社会実現のための広範な取り組みが必要であることが訴えられました。

そして、そうした広範な取り組みのなかに、部落差別の解消、その解消における大きな柱として狭山事件があり、狭山再審闘争に取り組まれたきた経緯とともに、事件の概要や現状などを報告しました。

その後、情宣行動で配布するチラシ入りポケットティッシュ作成のため、参加者全員で折り作業、封入作業をおこないました。



狭山事件の再審を求める情宣行動 ～ 「見えない手錠」を外すため取り組む ～

狭山事件の再審を求める情宣行動を5月22日、狭山青年共闘会議と関ブロ青年交流会の共催でおこない、約20人が参加。部落解放同盟からは、東京都連、群馬県連から参加がありました。

上野駅浅草口と京成上野駅出口の2か所に分かれ、石川一雄さんの無実を訴える情宣文を読み上げるマイクアピールと、チラシ入りティッシュの配布をおこなう形で取り組みました。

今年3月11日に石川一雄さんが無念の内に亡くなってから初めての開催となり、新たな局面をむかえている狭山再審闘争ですが、部落解放同盟、そして狭山青年共闘会議の中心メンバーは、石川一雄さんの遺志を引き継ぎ、第4次再審請求を申し立てた石川早智子さんを全力で支援し、石川一雄さんの手にはめられたままの「見えない手錠」を外すため引き続き取り組んでいくことを確認し、情宣行動に臨みました。

多くの人が受け取ってくれ、1,000個用意していたポケットティッシュも想定より早く配り終えたため、終了予定時間までそれぞれがマイクアピールをおこない、石川一雄さんの無実を訴えました。

